

「介護保険」が始まって14年…一番変わったのが長寿国と言われているこの国で、昼間にまちら年寄りの姿が消えたことです。朝の9時ごろに「ラチ車」(本人が希望して乗っていいので)がまちを走り回り、年寄りをひきさらって夕方4時ごろまでハコの中に閉じ込めます。デイサービスのスタッフは胸を張って「ラチは拘束してません!!」と言いますが、安心・安全をうたって「建物に「拘束」してませんか?」

気候の良い時には外に出て「地域」ともつながっている施設もありますがほとんどのところはどろどろかきうかき。

「ついでに場所をめぐらさないと」

は11年前から本人・介護者、介護施設職員、医療者、マスコミなどが一緒にお出かける部隊「お出かけタイ」を実施しています。これまでに北海道9回、お伊勢さん1回、カニツアー5回、花鳥園、有馬温泉、コスモスツアー、パチンコ、カラオケ、居酒屋、毎週外食…などに出掛けました。今年は、先月27日~29日に沖縄の旅に総勢40人で行ってきました。

「ついでに場所をめぐらさないと」の旅のチー



泣いて笑って7千ってええんやで!

ついでに場所をめぐらさないとの10年 ⑥

マはへさりげないサポートです。

本人も、介護者も、介護職も旅先では「ニンチショウ」なんて忘れた様子で伸び伸びと沖縄の碧い海へ馳走、余興を楽しんでいきます。本人たちはもちろん、周りの人たちも笑顔で、「生きてる実感」を満喫。へまじへまじで行く旅には、

安心と学びがあります。

この旅行と写真は、同行した長尾クリニックの長尾和宏院長のアピタルブログ(10月30日付け)で見ることができます。

11年前と比べると、航空会社の車いす対応もずいぶん進化したましたが、残念ながら「車いすの旅」はほとんど増えています。高齢者や障害者が旅を楽しむようにと観光バスをリフト付きに改造した北海道のバス会社は、結局利用者が少ないために潰れました。

ハコの中は安心?安全?でも自由が無い!

「車いす」の人・杖の人・押し車の人・ボケた人をハコに押し込めておくのではなく、その人たちがまちら普通にいっぱい居ることが「偏見」をなくすことにつながると思っています。

みんな外に出ましょ!!旅に行きましょ!!ウクワクしましょ!!生きてるんですもの!!

(NPO法人ついでに場所をめぐらさないと)理事

長・丸尾多重子